

NLE <i>Yokohama</i>		SETTING INTO OPERATION FOR "Super Sakura5"	Field Operation Dept.	
2005/08/24			T 000 715J	
R&D ST	Ver. 02	「マルチプレックスモジュール」設定・取付マニュアル	Page	1 / 1



「Super Sakura 5」
マルチプレックスモジュール
設定・取付マニュアル

開封チェック

1. 「Super Sakura 5 マルチプレックスモジュール」の梱包には下記のものが含まれていますので、開封時に必ず欠品等が無い
かチェックして下さい。

(1)	本取扱説明書(TC 000 715 J)	1部	(初回のみ同封)
(2)	「Super Sakura 5 マルチプレックスモジュール」本体	1台	
(3)	ACアダプター	1個	
(4)	BOX固定用ビス(付属品)	2個	
(5)	メンテスイッチ(付属品)	1個	

事前準備

1. 準備するもの

(1)	スクリュードライバー(マイナス) 精密ドライバー	1本	
(2)	電工手工具	1式	
(3)	テスター(ハイインピーダンスのもの)	1個	
(4)	接続ケーブル	必要長さ/必要芯数	

2. 事前作業

- (1) ケーブルの接続(信号抽出用のケーブルは事前にローカル装置に接続しておいて下さい)
作業は、エレベータへの設置の前に行っておいて下さい。



配線は基板上的コネクタのピッチに合うように考慮して配線接続して下さい。接触不良等の原因になります。

- (2) 監視センター側のセットアップ
本体装置をエレベータに設置する場合は事前にセンター側機器のセットアップが行われていなければなりません。
必ず確認して下さい。



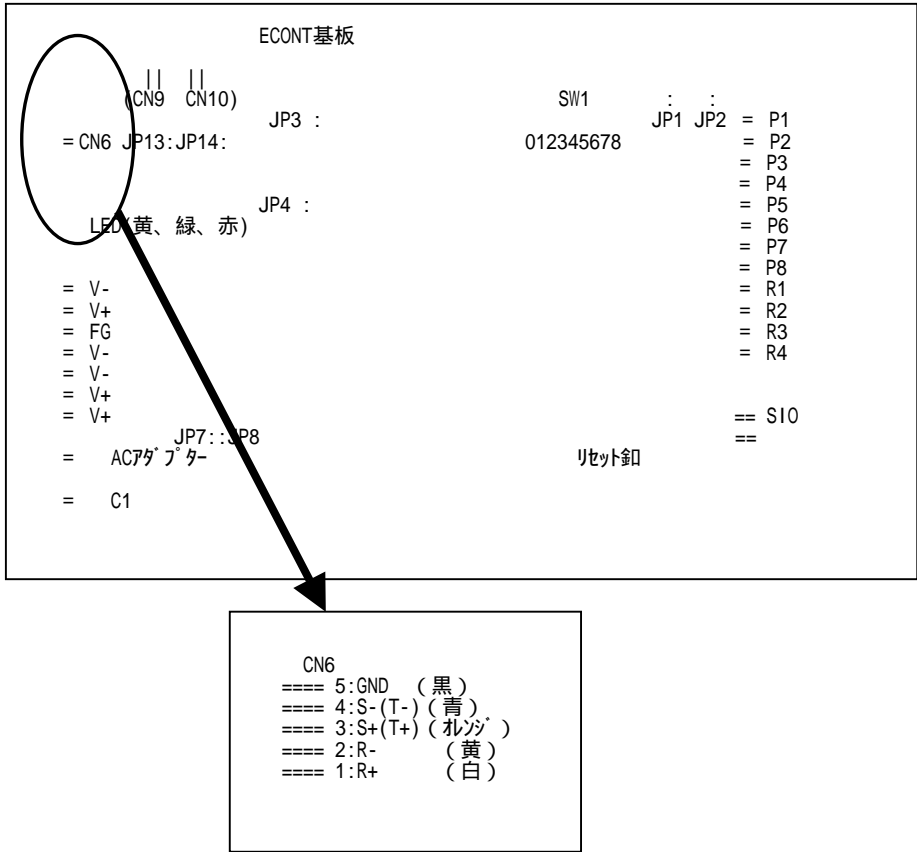
センター側のセットアップとは「センター側の機器が受信待機の状態であること」「設置するエレベータの基本情報がすでに登録されていること」の2点です。センター側のセットアップが正しく行われていないとセンターデータベースソフトが正しく動作しない場合があります。

3. 設定作業

- (1) PCとの接続
基板嬢のCN10コネクタにRS232C専用ケーブルを(4PIN)接続し、もう片方の、D-SUB(9PIN)コネクタはPCの通信ポートに接続します
次にディップスイッチ7番をONにし、設定モードに変更します
- (2) マルチプレックスモジュールへの電源投入
ACアダプターのソケットを挿入して下さい。
- (3) PCでの設定作業
設定作業は、設定ツール説明書を参照して下さい。

設定項目は下記の3点です。

- 1) SAKURAID
- 2) ポートの極性設定
- 3) タイマーの設定



(4) 設定の終了

ディップスイッチ7番をOFFにし設定モードから通常モードに変更します

上記、3項目の設定が終わったら、メインモジュールとマルチブレイクモジュールの通信ケーブルを接続 (R+, R-) する。

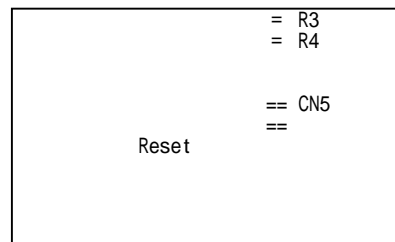
下記の図1を参照して下さい。

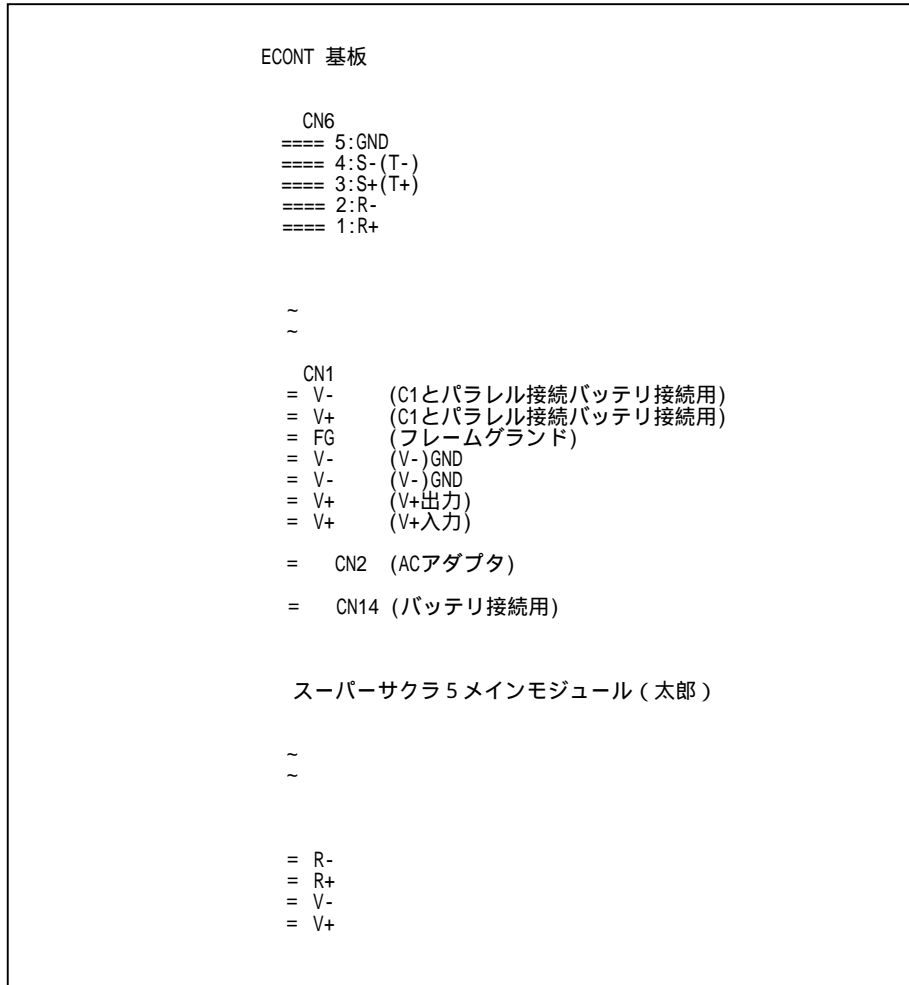


必ず、設定作業が終わった後に通信ケーブルをもとに戻して下さい。戻し忘れると「発報しない」などの不具合が起こります。また、誤接続の無いように十分チェックして下さい。誤接続があると機器を損傷する事があります。

(5) リセット

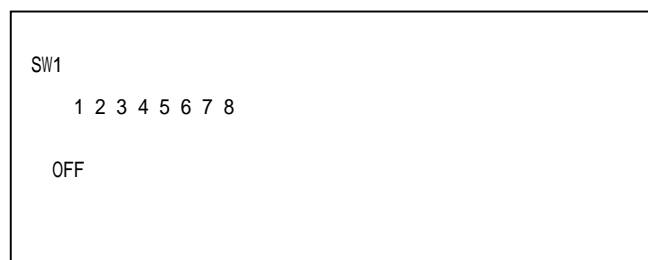
リセットボタン (SW3) を押し、本体の再起動を行います。





(6) ディップスイッチの設定作業

下記表に従い、ECONT基板上のディップスイッチ（SW1）の設定を行います。
 チャンネルIDの設定及び他の出荷時のスイッチ状態を確認して下さい。



アラーム制御モード	SW1 [1]	ON :アラーム通報をしない OFF:アラーム通報をする(出荷時)
リトライ発報中止モード	SW1 [2]	ON :リトライ発報中止をしない OFF:リトライ発報中止をする(出荷時)
	SW1 [3,4,5,6]	(未使用) 出荷時全てOFF
設定モード	SW1 [7]	ON :設定モードを実行 OFF:通常(出荷時)
初期化設定	SW1 [8]	ON :パラメータ初期化モードを実行 OFF:通常(出荷時)
チャンネルNo 設定 (初期化設定起動時のみ)	SW1 [1,2,3,4]	下記、チャンネルNo.表参照 初期化設定時にチャンネルNo を設定します

チャンネルNo.表

チャンネル No の設定

初期化設定時、ディップスイッチが下記の状態に設定されます

チャンネル No	SW1 [1]	SW1 [2]	SW1 [3]	SW1 [4]
1	OFF	OFF	OFF	OFF
2	ON	OFF	OFF	OFF
3	OFF	ON	OFF	OFF

マルチプレックスは、最大で 3 台まで接続出来ます。

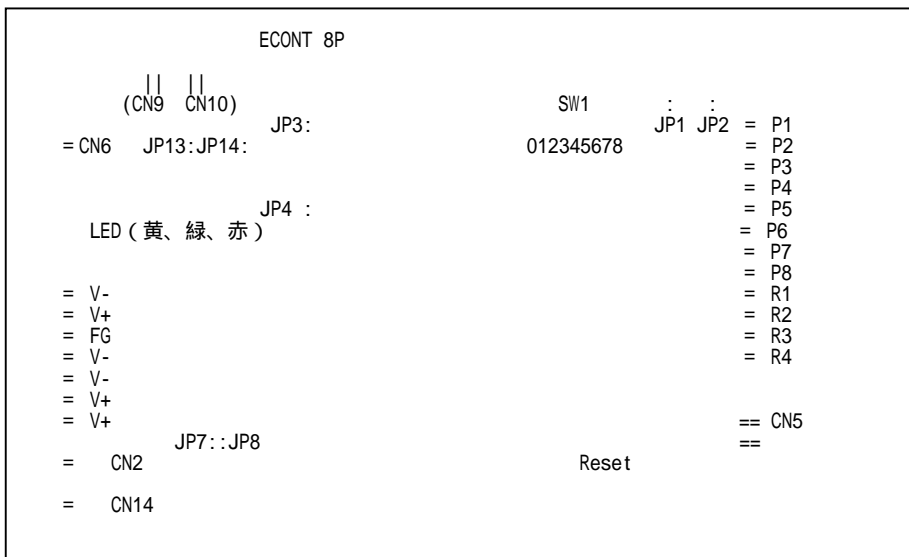
また、チャンネル No.の読み込みは SW1「8」が ON :パラメータ初期化モードを実行の状態電源を ON した際に読み込みされます。読み込み作業が終了したら、SW1「8」を OFF に切り替え再度電源の入り切りを行って下さい。



本作業は、**確実に**行って下さい。誤設定が有りますと誤動作の原因となります。

(7) ジャンパーピン の設定作業

下記表に従い、ECONT基板上のジャンパーピン (JP1 ~ JP14) の設定を行います。



メンテスイッチ	JP1 (2pin) JP2 (2pin)	JP1、JP2 ショート時 : メンテ ON JP1、JP2 どちらかがオープン時 : メンテ OFF
実行プログラムダウンロード	JP3 (2pin)	ショート時:ダウンロードプログラム起動(ロジック) オープン時:通常プログラム起動
SIO2 モード選択	JP4 (3pin)	2-3 ショート時:SIO2 を RS232C で使用 (出荷時) 1-2 ショート時:SIO2 を RS485 で使用
SIO2 モード選択 2	JP7 (2pin) JP8 (2pin)	両方ショート時:SIO2 の RS485 通信 2ワイヤーモード (出荷時) 両方オープン時:SIO2 の RS485 通信 4ワイヤーモード
SIO1 モード選択	JP13 (2pin) JP14 (2pin)	両方ショート時:SIO1 の RS485 通信 2ワイヤーモード (出荷時) 両方オープン時:SIO1 の RS485 通信 4ワイヤーモード

取付/試運転/運転開始 作業

1. エレベータ電源の遮断

エレベータ機械室にてエレベータ電源（動力/照明/その他）を遮断してから作業を開始して下さい。



通電のまま作業を行いますと地絡事故の原因になります。また、感電する恐れがあります。

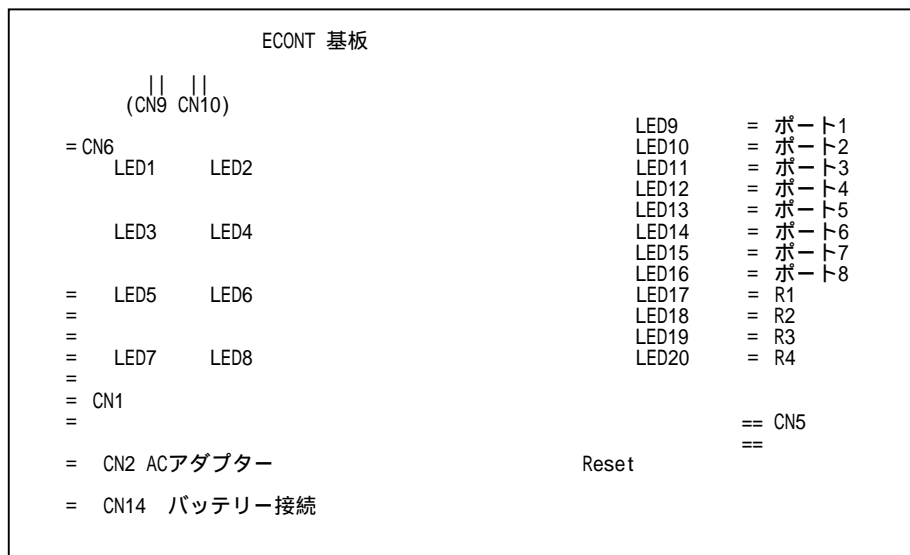
2. ボックスの取り付け

エレベータ制御盤側面または機械室/昇降路壁面の適当な位置に装置本体を取り付けます。

(1) ボックスの取り付け

本体ボックスの取り付け穴ピッチに従って、取付け面に付属のビスまたはアンカーボルトを打ち、ボックスを固定します。

3. 接続作業



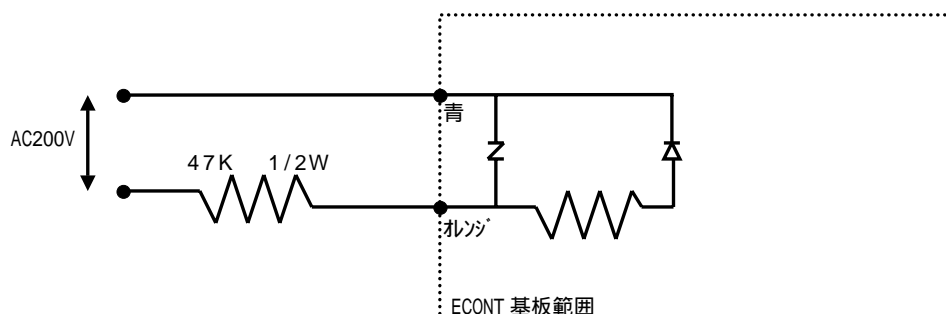
下記の図に従い、エレベータの監視ポイント、インターホン線、ACアダプター、電話回線への接続を行います。

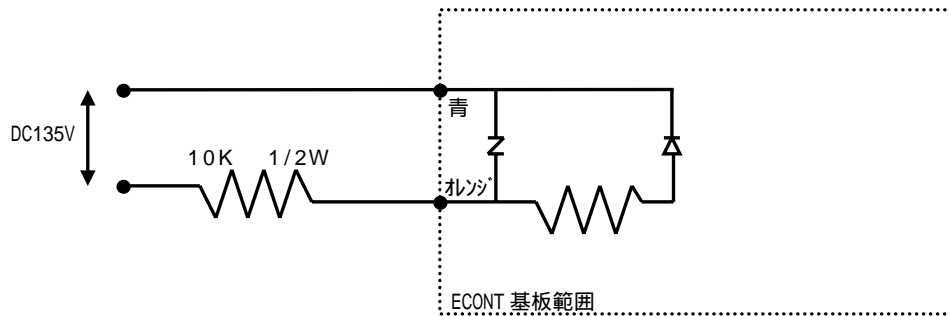
(1) 制御盤内監視ポイントへの接続

信号抽出用接続ケーブルの各線を監視項目記入シートに従い制御盤内へ接続します。

エレベータ電源監視及び制御回路（DC135V）で監視する場合の接続方法

AC200VまたはDC135V監視の場合は、ポート入力の前に抵抗（AC200Vの場合：47K 1W）（DC135Vの場合：10K 1W）を取り付けてください。





誤接続がない様に十分注意して下さい。誤接続があると機器を損傷する事があります。

ここまでの作業が正しく行われているかどうかここで目視チェックを行って下さい。

4 . 試運転及び運転開始作業

- (1) エレベータ電源の投入

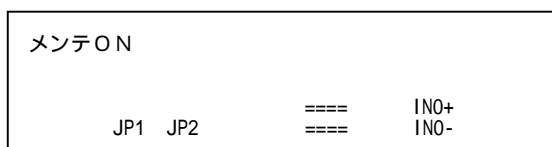
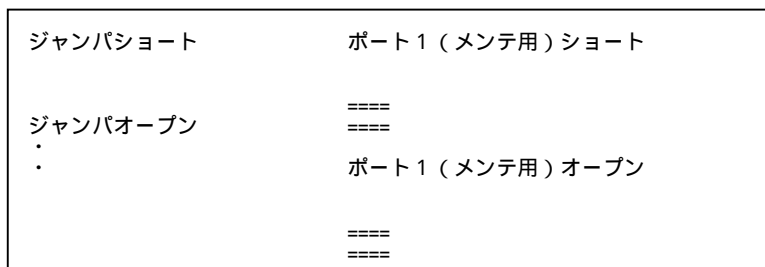
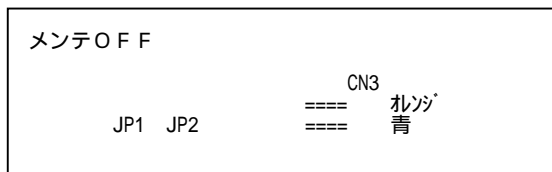
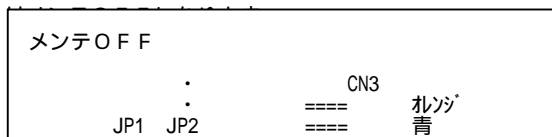
エレベータ電源（動力 / 照明 / その他）を投入して下さい。

- (2) メンテナンスON

本体基板のメンテナンススイッチをONにしておいて下さい。（JP1、JP2のジャンパーピンをショートさせる）

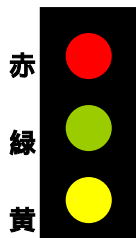
JP1、JP2のどちらかのジャンパがショートされていない場合は監視モードになります

また、両方のジャンパピンがショートさせている場合でもポート1のプラスとマイナスがショートされている場合



(3) 表示LEDの説明

下記に表示LEDの説明を記載致します。



動作中	1[s]間隔の黄 LED の点滅
通信中	緑 LED の点灯
メンテ中	1[s]間隔の緑 LED の点滅
アラーム	赤 LED の点灯
マスク中	1[s]間隔の赤 LED の点滅
起動中	1[s]間隔の全 LED の点滅を 2 秒間行い、動作中になる
コマンドモード	1[s]間隔の全 LED の点滅
設定値初期化中	初期化中は 1[s]間隔の全 LED の点滅を行い、初期化終了後赤 LED、緑 LED の点灯、1[s]間隔の黄 LED の点滅を行う

LED 1	シリアル通信 2 のデータ受信
LED 2	シリアル通信 2 のデータ送信
LED 3	シリアル通信 1 のデータ受信
LED 4	シリアル通信 1 のデータ送信
LED 5	(未使用)
LED 6	(未使用)
LED 7	(未使用)
LED 8	(未使用)
LED 9	ポート1入力(メンテポート)
LED 10	ポート2入力
LED 11	ポート3入力
LED 12	ポート4入力
LED 13	ポート5入力
LED 14	ポート6入力
LED 15	ポート7入力
LED 16	ポート8入力
LED 17	(未使用)
LED 18	(未使用)
LED 19	(未使用)
LED 20	(未使用)

(4) 本体の電源用ACアダプターソケットを挿入する

ソケットを挿入すると基板の初期化を行います。初期化中は、1秒間隔の全LED点滅を行い、初期化終了後、赤LED、緑LEDの点灯を行い、1秒間隔の黄色LEDの点滅を行います。ローカル装置が直ちに発報し、通信を始めるため) 8つの入力モニターLEDは直ちに監視ポイントのステータスを表示します。

(5) バッテリーのコネクター接続

コネクター番号CN14にバッテリーを接続して下さい。



ACアダプター電源投入後、異音/異臭/その他異常がある場合は直ちに電源を遮断して下さい。そのままにしておくと機器を損傷する事があります。

(6) メンテナンス開始発報

メインスイッチをONにすると、直ちにローカル装置は通信を開始します。

メンテナンス開始発報が正しく行われると通信表示用の緑色LEDは消灯し、メンテナンスモードになります。

(7) メンテナンス終了発報

点検作業が終了した際は、JP1、JP2のどちらかのジャンパピンをショート状態から外して下さい。通信中表示ランプ(緑)が点灯し、直ちにセンター側にメンテナンス終了発報が行なわれます。メンテナンス終了発報が正しく行なわれると通信中表示ランプが消灯し監視モードになります。

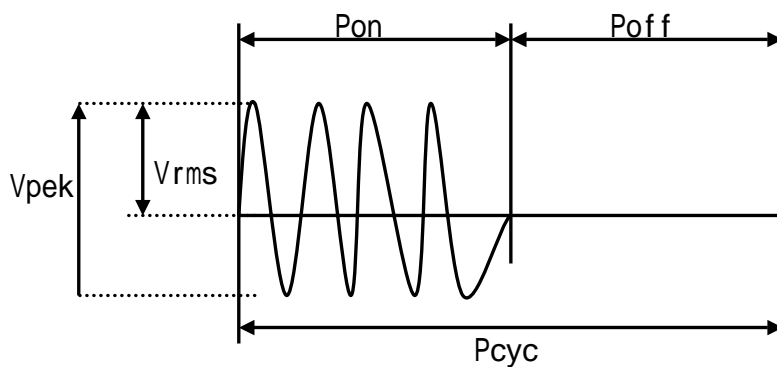
5. 運転開始

上記すべての作業が終了しましたら運転開始です。

その他

1. ポート入力仕様

(1) 仕様数値



- V_{rms} : 125V
- V_{peak} : 175V
- Pon : 100msec以上 (AC) 20 msec以上 (DC)
- $Poff$: 100msec以上 (AC) 20 msec以上 (DC)
- $Pcyc$: 200msec以上

END OF DOCUMENT

Prepared by ST/R+D NLE